

# 第1学年 算数科

まつさかしりつだいやんしょうがっこう  
松阪市立第四小学校



## 【学習目標】

- 数の概念とその表し方や計算の意味を理解し、量、図形、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにする。
- ものの数に着目し、具体物や図などを使って数の数え方や計算の仕方を考える力を養う。ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考える力を養う。身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力を養う。データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力を養う。
- 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

## 【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「あたらしいさんすうI①」	(東京書籍)
副教材	「あたらしいさんすうI②」 形成プリント	(東京書籍) (日本標準)

持ち物		
教科書	ノート	ふでばこしたじ 筆箱 下敷き タブレット

## 【学習の約束】

- 自分の考えを進んで発表しましょう。
- 先生や友だちの話をしっかり聴きましょう。
- 字を丁寧に書きましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

## 【学習内容】

前 期	後 期
1. なかまづくりとかず 2. なんばんめ 3. あわせていくつ ふえるといくつ 4. のこりはいくつ ちがいはいくつ 5. どちらがながい 6. わかりやすくせいりしよう 7. 10よりおおきいかず 8. なんじなんじはん 9. 3つのかずのけいさん 10. どちらがおおい	11. たしざん 12. かたちあそび 13. ひきざん 14. おおきいかず 15. どちらがひろい 16. なんじなんぶん 17. たしざんとひきざん 18. かたちづくり

### 【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
技能 知識	数量や図形について理解し、それらの感覚を豊かにしている。計算や、量の大きさ比べ、簡単な絵や図などに表すことができる。	単元テスト 授業の様子 発言・発表 ノート
表現 判断 思考	数の数え方や計算の仕方を考える力、量の大きさの比べ方を考える力などを身に付けている。	授業の様子 発言・発表 単元テスト ノート ふり返し
取り組み 学習に 主体的に	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習している。	授業の様子 発言・発表 ノート ふり返し